

# 一般質問 Q&A

6月定例会初日の24日、能美中学校の3年生45人が、社会科の授業の一環として、議会議堂を傍聴しました。

生徒たちは、一般質問の質疑応答を真剣に聞きながら、熱心にメモを取っていました。



## Q 教育行政を問う

山本 一也 議員

### A 子どもを大切に作る学校づくり

市長

Q 教育行政について

A 「学校の小規模化、複式化と学校施設の老朽化に対応した教育環境の整備」「教職員の資質向上と指導力アップ」を基盤に、一人ひとりの子どもが大切にされる学校づくりをする。

Q 地域防災対策について

A 江田島市災害対策本部条例に基づき災害対策本部を設置・運営。住民サービスの向上について

Q ジェット機の低空飛行による騒音について

A 県を通じて国の関係部署に事実確認の要請をしているが、機会あるごとに国などへ要請活動をしている。

Q まだに収まらない現状は、非常に残念です。国に対し移転反対の要請書を提出した。

Q ISO認証取得について

A 市の長期構想の中で、環境行政を重要な施策として位置付け、環境管理に努める。

## Q 台風常襲地域に波消しを

登地 靖徳 議員

### A 早期の復旧と対策強化

市長

Q 超大型台風が常襲化してきている。港も防波堤もひっくり返り、道も家も田畑も大変な被害を受けている。台風の強力なパンチを受ける島しょ部の南部・西部の再検討、再構築が必要と考えられ、山口県大島郡の

A 臨海部や皆生温泉に見られる大型テトラポットによる防波堤はともよ事例で、超大型台風に負けない早急な対応策を実現して欲しい。

岸保全施設に対して、県・国に被害状況を見てもらい、早期の復旧と対策強化をお願いした。

Q 津久茂架橋・広島湾架橋、この二つの橋が実現したら気候温暖で周囲を海に囲まれ自然美に富んだ庭園都市が誕生すると考えられます。一日も早い実現に努力を。

A 息の長い活動を続けながら、広島湾架橋・第2音戸大橋を見越し、要路には協力をお願いする決意である。



▲テトラポットが整備された沖美町岡大王の海岸

## Q 今後の高潮対策は

久保田 正信 議員

### A 関係者と協議する

市長

Q 秋になると台風や高潮のため、ここ数年間、家屋の床下、床上浸水や農地への塩害の被害が出ており、住民の生活が脅かされている。地球の温暖化による影響によるものと思われませんが、高潮時における消

防団の土嚢の製作・運搬や、以後に於いての予防対策への職員の派遣等において、莫大な経費もかかってきているが、被害をいかに少なくするかについての市長の答弁を求め。

A まねき屏や潮廻しの浸透による被害の減少と高潮事業、海岸保全事業等、施設管理者と協議するなどの取り組みを行っていきたい。

また、ポンプ場の設置は考えていないが、今後、用途の変更は考えていく。



▲防潮扉が設置された江田島町矢ノ浦地区



▲夏休み期間中ラジオ体操する切串小学校児童

Q 教育行政について

A 江田島市災害対策本部条例に基づき災害対策本部を設置・運営。住民サービスの向上について

Q ジェット機の低空飛行による騒音について

Q まだに収まらない現状は、非常に残念です。国に対し移転反対の要請書を提出した。